

令和6年度 学校評価アンケート結果

柏市立柏第一小学校

1 概要

本校では、学校教育目標「かしわ一小けんめい！～よく笑い よく遊び よく学ぶ～」を基本的な考えとし、本年度「安全・安心な環境作り」「学力差への対応」「心の教育・居場所づくり」「健康教育の充実」「職員の資質・指導力の向上」の5つの柱を軸に、「保護者や地域に信頼される学校づくり」を目指し、教育活動に取り組んできました。また、コロナ前の教育課程を経験した学年が少ない中、教育活動を進める難しさもありましたが、各問いへの回答を見ると「肯定的な評価」をした児童の割合が、昨年度とほぼ変わらない結果が得られました。職員一同、一安心したところです。様々な形で保護者の皆様にご理解とご支援をいただき、行事等のやり方を工夫して子ども達の学びの保障ができた結果であると思います。心よりお礼申し上げます。

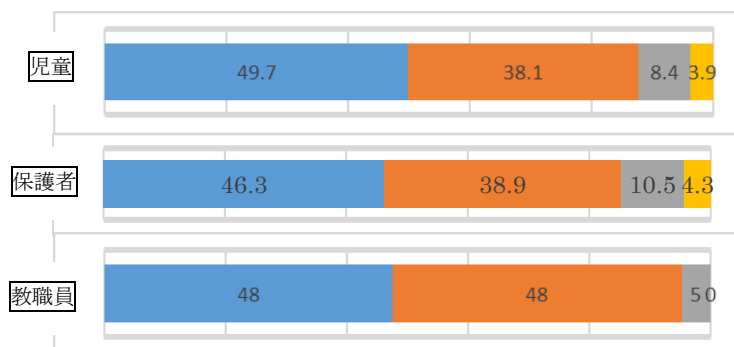
2 学校教育目標の具現化に向けた取り組み

＜上：児童 中：保護者 下：教職員＞

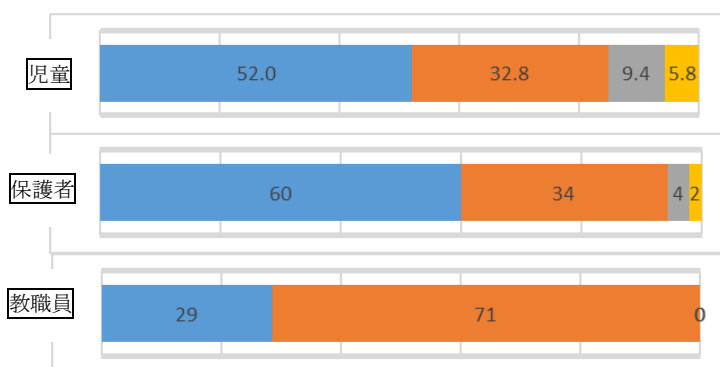
■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない ■ そう思わない

(1) 学校教育目標に向けて

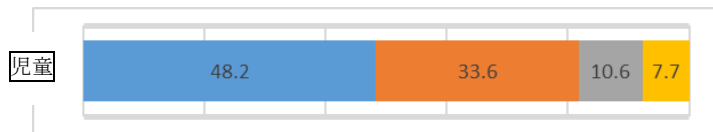
1 「かしわ一小けんめい！よく笑い よく遊び よく学ぶ」という目標を意識して生活できましたか



2 学校へ行くのは楽しいですか

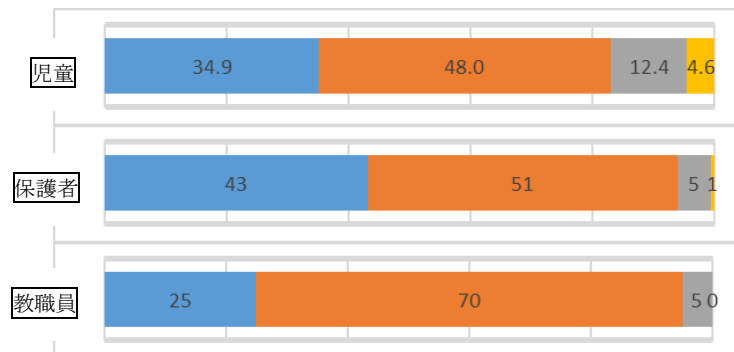


3 学校には自慢できる良いところがありますか

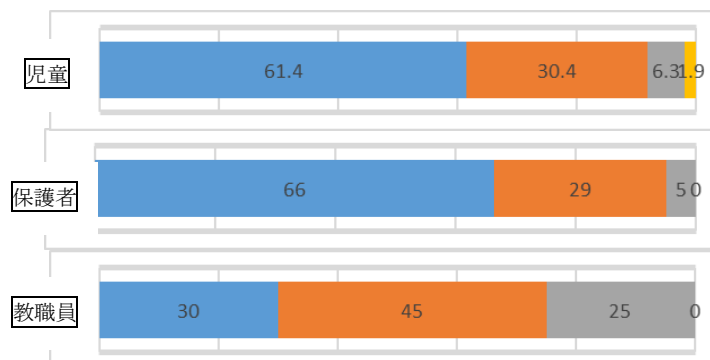


(2) (知) 学力差への対応、教職員の資質・指導力の向上

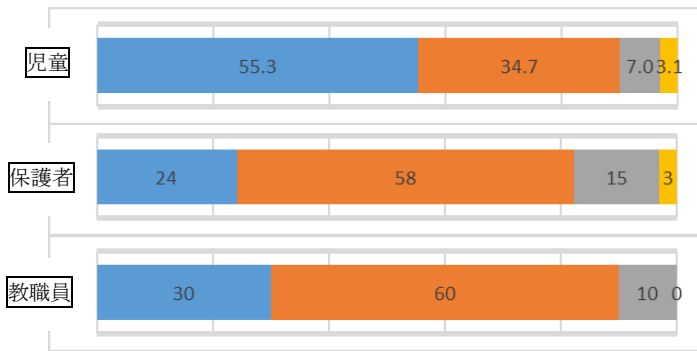
4 授業中、自分から進んで学習に取り組みましたか



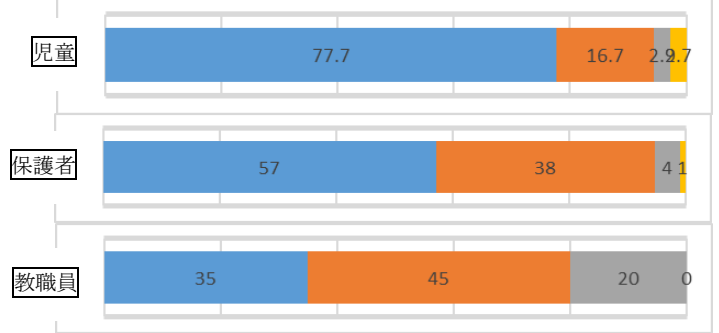
5 一人一台端末を使って学習を進めましたか



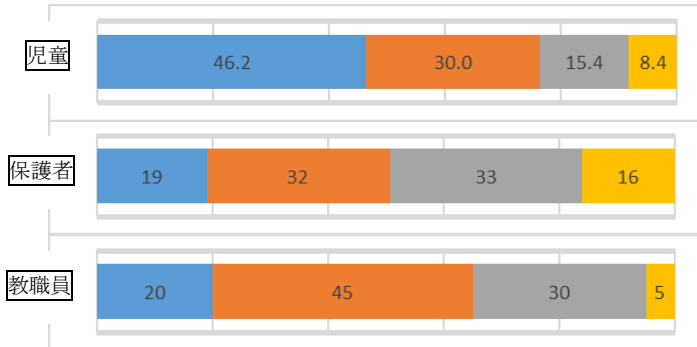
6 学校の授業(個に応じた学習支援)はよくわかりますか



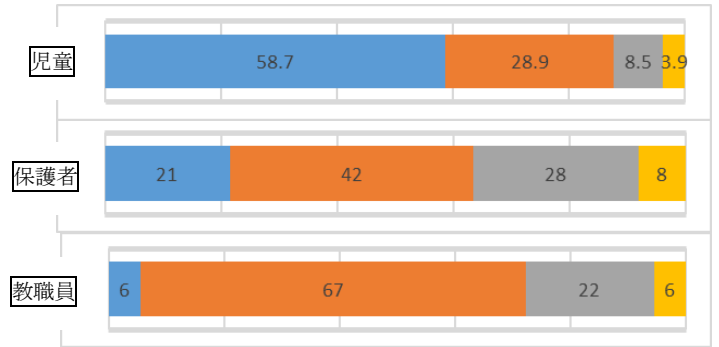
7 学校の体験的な学習の時間は好きですか



8 本を読むのが好きですか

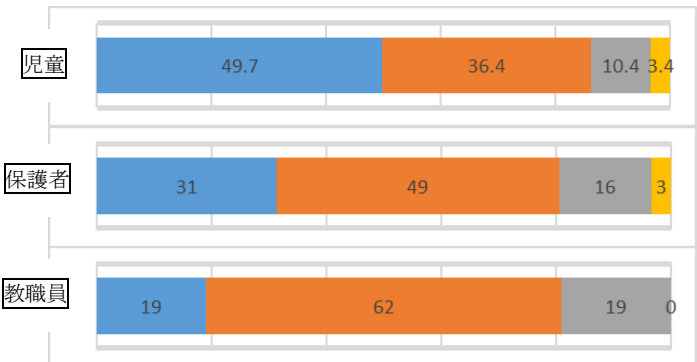


9 宿題は忘れずにやっていますか

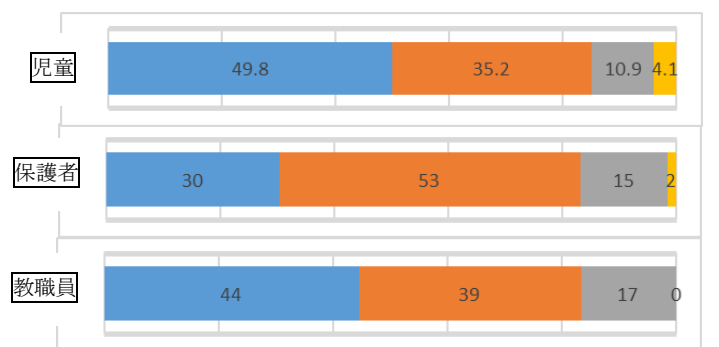


(3) (徳) 心の教育・居場所づくり

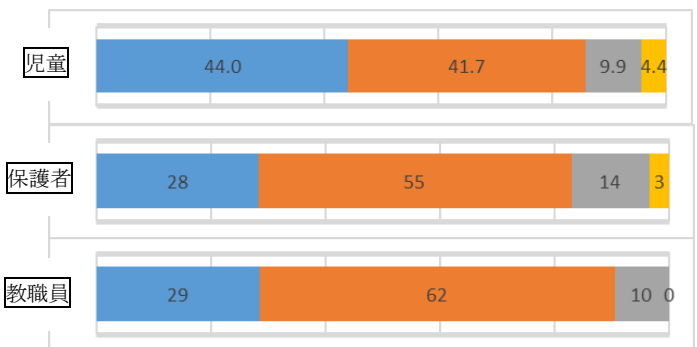
10 先生や友達、地域の人に進んで挨拶をしていますか



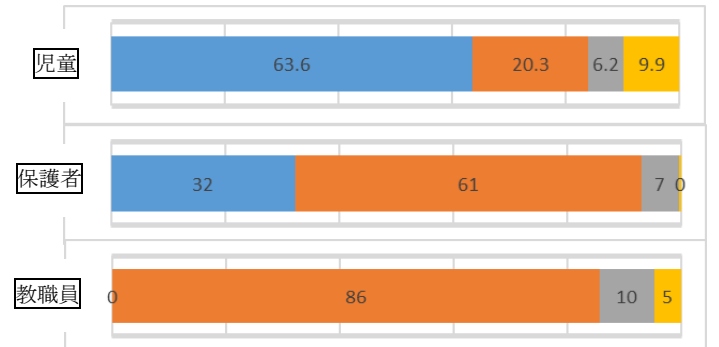
11 道徳の時間は自分の考えを持つことができましたか



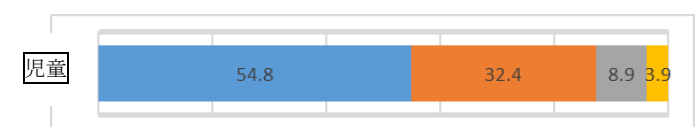
12 先生や友達は自分のことをよくわかっていますか



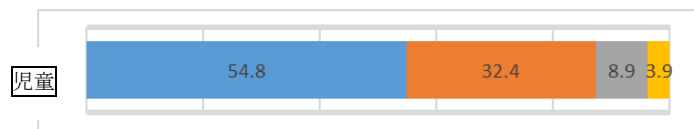
13 いじめや悪口など人の嫌がることはしていませんか
(思いやりのある言動がとれていますか)



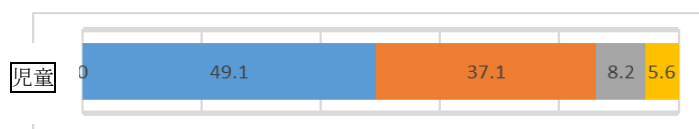
14 先生は自分たちが頑張ったことを認めたりほめたりしてくれましたか



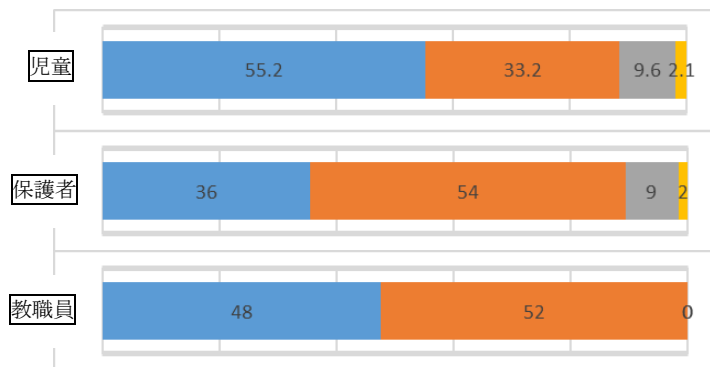
15 家の人に、学校であったことや友達のことなどをよく話をしていますか



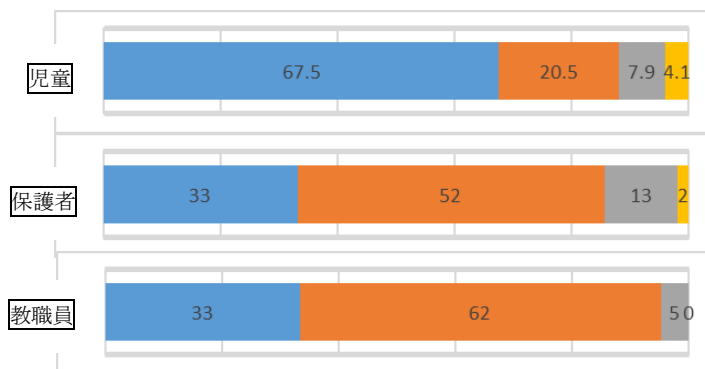
16 先生は困った時に何でも相談にのってくれましたか



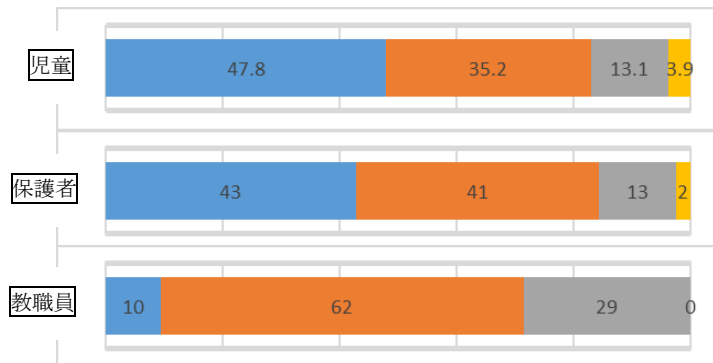
17 手洗いやうがいなどをきちんと行い、健康に気をつけて生活できましたか



18 運動や外遊び等進んで体を動かすことができましたか

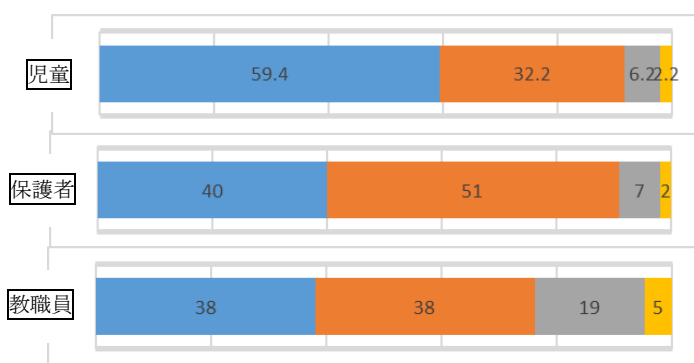


19 早寝、早起き、朝ご飯を心がけて生活していますか

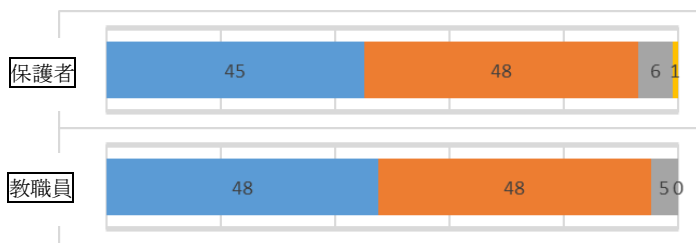


<保護者：学校に望むこと>

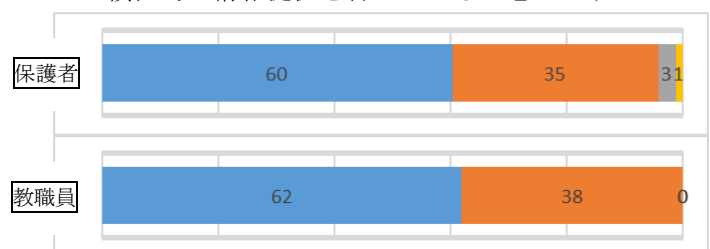
20 安全に気をつけて生活できましたか



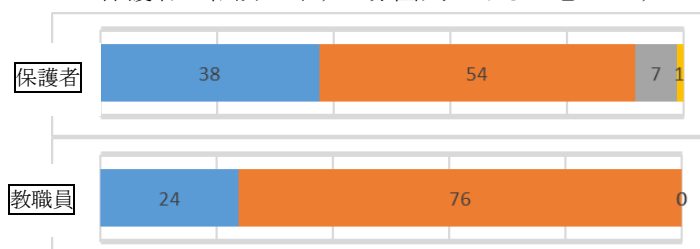
21 柏一小の教職員は一体となって教育活動に取り組んでいると思いますか



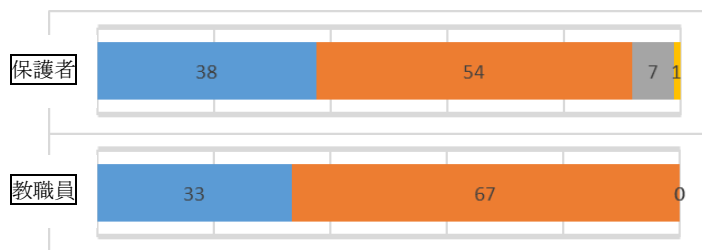
22 学校はスクリーンやメール、学校 HP を活用して積極的に情報提供を行っていると思いますか



23 学校はお子さんのことで困ったことがあった時、保護者が相談しやすい雰囲気があると思いますか



24 学校は保護者や地域と連携を取り、協力して教育活動に取り組んでいると思いますか



令和6年度 教育活動アンケート集計結果

項 目	アンケート結果から	改善策等
学校教育目標について	<p>「かしわ一小けんめい！～よく笑い～よく遊び～よく学ぶ」という学校教育目標を意識して取り組むことができ、その結果が表れていると思います。</p> <p>NO.1について、保護者から85％、児童からも88％の肯定的評価を得ました。NO.2について、肯定的な評価を児童から85％、保護者からは94％の評価を得ました。</p>	<p>学校教育目標を変えて3年が経ち、子ども達の中にも目標が浸透してきているように感じています。NO.2について、肯定的な回答は昨年度と大きく変わりませんでした。しかし、否定的な回答をしている子ども達の存在が気になります。担任をはじめ、職員で楽しくないと感じている児童を把握し、一人一人に寄り添いながら支援していきます。これからも全児童が楽しいと思える学校を目指し、教職員が率先して、楽しく過ごせる学級づくりや授業づくりに努めてまいります。</p>
<p>(知)</p> <p>学力差への対応、教職員の資質・指導力の向上</p> <p>『学習指導について』</p>	<p>児童が主体的に学習に取り組む姿 (NO.4) について、教職員の95％、児童の83％から肯定的評価を得ました。児童の方が少し低い結果となりましたが、児童がより自信を持って取り組めるように今後も指導してまいります。</p> <p>一人一台端末の活用について (NO.5) について、肯定的な回答が児童・保護者とも90％を超えており、授業の中で効果的な活用ができた結果と思われます。多様な表現活動を通して児童が主体的に学べる授業づくりに今後も努めていきます。</p> <p>NO.7 体験学習について、児童・保護者とも肯定的な回答が90％を超えており、授業や行事を通した体験活動で、興味・関心を引き出し、主体的・意欲的な学習につなぐことができた結果だと思っています。体験活動は、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤となり、成長の糧と</p>	<p>NO.8について、肯定的な回答がやや低い結果となっています。司書教諭や図書館指導員と連携し、積極的な図書室利用の推進に向け、読書月間の取組をはじめ様々な工夫を重ねてきました。また、図書委員会を中心とする、子どもたちによる主体的な取組の充実を図っているところです。今後も引き続き、発達段階に応じた読書活動の工夫や読書活動推進に向けた環境づくりに取り組んで参ります。</p> <p>家庭学習について (NO.9) は、保護者は、63％の肯定的評価でしたが、児童は88％の肯定的評価でした。大半の児童は宿題をやってきており、ご家庭での声かけも大きいのではないかと思います。学校での学びを家庭でも取り組みたくなるような宿題の設定にしたり、家庭学習を学校の生活に生かせるような授業内容にしたりするなど、学校と家庭とが結びついた取り組み</p>

	<p>しての役割が期待されるものです。今後もより一層体験活動を重視した教育活動を進めてまいります。</p>	<p>を進めてまいります。</p>
<p>(徳) 心の教育・居場所づくり</p> <p>『生徒指導について』</p>	<p>NO.12 児童理解について、3者とも高い肯定的評価を得ましたが、児童の14%が「思わない・あまり思わない」と回答していることから、教員のさらなる児童理解が必要と考えます。児童が安心して過ごすことができるよう、日常の変化にいち早く気づき声掛けをするとともに、児童に寄り添った指導を心がけていきたいと思ひます。</p>	<p>NO.10 挨拶について、課題のある結果となりました。校内だけでなく、進んで挨拶ができるように、教職員も進んで挨拶に取り組んでいきます。</p> <p>NO.11 心の教育の一環として今年度実施している「道徳の交換授業」について、周知が足りなかったと反省しております。交換授業をすることにより、担任の授業だけでなく、多くの教員から指導を受けることにより、児童の良さの発見につながり、児童の自己肯定感を伸ばすことが期待されますので、今後も続けていきます。</p> <p>NO.13 思いやりのある言動については、「思わない」と回答している児童が10%おり、今後も心の教育に力を入れて取り組んでいきます。</p>
<p>(徳) 心の教育・居場所づくり</p> <p>『健康・安全について』</p>	<p>NO.17 感染症対策について、高い肯定的評価を得ました。換気をしたり、委員会や係活動の中で呼びかけたりと日常的に健康に気を付けようとする意識が少しずつついてきたようです。引き続き、子ども達の安全を第一に考えた対応をしてまいります。</p> <p>NO.18 健康対策について、児童の88%が肯定的に評価をしています。今年度は委員会を中心にした児童主体の〇〇週間を行ってきました。今後も児童の健康と体力向上への工夫を図っていききたいと思ひます。</p>	<p>NO.19 基本的な生活習慣について、特に朝食については大半の児童が食べてから登校しています。児童が元気に学校で学習や活動をするためには、朝食の摂取が欠かせません。授業を通して子ども達に自分の健康を守る大切さを伝えたり、学校からも情報を発信したりしながら、保護者の方のご協力のもと、進めていきたいと考えています。</p>
<p>信頼される学校づくりについて</p>	<p>NO.21 の教職員の一体感について、保護者・教職員共に94%の肯定的評価を得ましたので、今後も共通理解を図りながら取り組んでいきます。</p> <p>NO.22 情報提供について、保護者から96%の高い評価を得ましたので、引き続き積極的な情報発信に努めます。</p>	<p>今後も児童が、より良く生きるための基盤となる道徳教育に一層力を入れて指導していきます。さらに、個に応じた指導を充実させ、確かな学力を身に付けさせるために、授業改善に努めていきます。</p>

《教育活動アンケートに寄せられたご意見について》

【学校施設について】
<p>○トイレ・更衣室について</p> <p>柏市教育委員会にトイレの増加及び水回りの改善をお願いしていますが、建物の構造上難しいとの回答です。現在の状況から、使用トイレを学年ごとに指定しています。子ども達には、早め早めに声をかけるようにしていきます。また緊急の場合等には、近くのトイレを使用してもよいということを周知していきます。</p> <p>低学年の男子更衣室については、普通教室を決定後、配置を検討していきます。</p>
【安全面について】
<p>○門の開閉及び下校時の見守りについて</p> <p>安全面の対策として、子ども達が登校後に門を閉めるようにしております。構造上施錠することは難しいため、防犯カメラの設置と職員の見回りで対応しています。不審者が容易に入って来られぬよう、保護者の皆様にも、お迎え等で門を開けた際には、閉めていただくようご協力をお願いいたします。</p> <p>ここ最近の不審者情報が多いことも心配しております。保護者への Sigfy での周知はもちろんのこと、子ども達へも学級指導等で注意喚起を行ってまいります。下校時の見守りについては、学校運営協議会や PTA 本部とも相談をし、対応を講じてまいります。</p> <p>○通学路上の課題について</p> <p>柏市や PTA 本部、地域とも連携をして取り組んでおります。通学路上の安全面と諸課題についてはまだまだ改善すべき点があると思いますが、今後も関係機関と連携を持って取り組んでいきます。</p>
【一人一台端末について】
<p>○連絡帳の取り扱いについて</p> <p>各学年やクラスで、連絡帳を PC（クラスルーム）の中でお知らせしておりますが、希望される方には、従来の紙の連絡帳に書くことも可能です。担任にお申し出ください。なお、PC に連絡帳の内容を児童が帰宅する時間に合わせてUPできるように教員には指導してまいります。</p> <p>○家での PC の使い方について</p> <p>一人一台の端末が配備され、宿題の内容も少しずつ変化してきました。ノートやプリントでの宿題の他にも端末を使った宿題も今後さらに増えてくると思います。それぞれの良さを生かし、主体的に宿題に取り組めるよう指導していきます。また、端末を使用する際には、『PC の使い方の決まり』を守るよう学校でも指導していきます。ご家庭でも、子どもと一緒にご家庭でのルール作りをお願いいたします。もし、ご家庭での端末の利用の仕方で不安がある場合には、個別に担任又は学校までご相談ください。</p>
【連絡体制について】
<p>○Sigfy について</p> <p>Sigfy でのお知らせが多く確認漏れすることが不安とのお声をいただいております。現在、多くのお手紙やチラシが柏市や学校、PTA 等からも配信されています。配信により、いつでも見られるというメリットがある反面、大事な情報が見つかりにくくなってしまうこと、申し訳ございませんでした。見やすいアプリになるよう要望書を提出していますが、改善に向け今後も柏市教育委員会と連携を持って取り組んでいきます。なお、「メッセージ検索」機能を使用することで知りたい情報が見つけれられる場合もございます。ぜひご活用ください。今後も大事なお手紙はリマインドしていきます。</p>
【教職員について】
<p>○教職員の対応について</p> <p>教職員の対応についても様々なご意見をいただきました。どのご意見も真摯に受け止め、児童への指導に生かしていきたいと思っております。特に、教職員の授業力や児童理解に課題があるのご意見は、我々の不徳といたすところです。教職員の児童理解を一層深めるとともに、共通理解を図り、同一歩調で児童の指導に当たるよう</p>

努めてまいります。今後も、全ての教職員が児童理解や学習指導の研修を重ね、誤解や行き違いによって信頼関係を損ねないようにしていきます。

○教育相談の窓口について

お子様のことで相談がある場合は、担任だけでなく、学年主任にもご相談いただけます。また、教頭・養護教諭（吉原）・教務主任の飯島教諭・佐藤教諭・清水（博）教諭は、教育相談の担当者となっておりますので、いつでもお気軽にご相談いただきたく存じます。

【学校行事・教育課程について】

○学校行事、教育課程に関することについても様々なご意見をいただきました。どのご意見も真摯に受け止め、次年度の行事や教育課程に生かしていきたいと思ひます。今後も、活動の目的や意義を考え、持続可能な教育活動の充実を図りたいと思ひます。

今年度も、学校評価アンケートにご協力くださり、ありがとうございました。意見の多かったことを中心に記載させていただきましたが、その他にも様々なご意見をいただいております。貴重なご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見をもとに、本校職員一同、この度の学校評価から得た課題をしっかりと受け止め、改善しながら次年度に生かしたいと思ひます。今後も柏一小の子ども達が「かしわ一小けんめい！よく笑い よく遊び よく学ぶ」を合言葉に、学校生活を充実させ、大きく成長できるよう取り組んで参ります。

《学校運営協議会委員からのご意見》

【一人一台端末の活用について】

○協働学習の際には、ICTをツールとして良い使い方をしているように感じている。日常的に授業の中で使用していることで、児童の意欲や表現力、コミュニケーション力の向上に役立ってきているのではないかな。

○朝も夜もPCに触れている時間が多い。書くことの大切さも大事にして欲しい。

○家で端末を使うのはダメではなく、工夫することが大切。学校でできるものと家でできるものを考えて課題を出すの良いのではないかなと思う。

【教育課程・行事について】

○学力の面では、全国平均よりかなり高い評価になっている。学力だけではないが、一小の地域特性を含め、一小の特性を活かした教育をしていくと良い。

○教科担任制や単元別習熟度別授業を進めていくのはどうか。

○久しぶりの音楽発表会とのことですが、感動いたしました。仲間意識も芽生えたのではないのでしょうか。このような感動を子ども達にも多く与えられるような行事が良いのではないかなと思う。

【その他】

○学校行事等を見る限り、児童は子どもらしく元気に過ごしていると思う。ただ児童と教職員との回答の差がある項目もあるので、なぜそうなったのか詳しく見ていく必要がある。複数以上に否定的な回答をしている児童がいるのであれば、それは児童からのシグナルと捉え、適切に対応する必要があると思う。

○保護者・児童は好意的に学校を評価している。少数の否定的な評価をしている児童が、少しでも行きたいと思えるよう、CSとして考えていきたい。

○これから一貫校に向けた取り組みが始まると思うが、この地域ならではの学校教育の場であって欲しい。

○先生方を含め、子ども達の教育環境も大きく変化している昨今です。平素よりきめ細やかな教育活動をしていただきありがとうございます。

○全教職員が教育目標達成に向かって、資質・指導力の向上に努めた結果が良好な評価を得たと思う。新年度も教育目標を意識して取り組んで欲しい。